

精神科研修プログラム

研修施設 大泉病院

指導医 今坂 康志・木村 淑恵・富田 真幸

<u>研修期間</u>	基本コース	必修科目	4週
		選択科目	4週～32週
	小児科・産婦人科コース		
	産婦人科主科	必修科目	4週
		選択科目	4週～12週
	小児科主科	必修科目	4週
		選択科目	4週～12週

【一般目標】

総合的な診療能力を身につける一環として、主な精神疾患・状態像の診断、治療の知識、基本的な技術の習得をめざす。

【行動目標】

1. 面接および問診の技術を習得する。
 - ・ 問診のとり方
 - ・ 精神疾患の評価のための知識（精神症状・状態像など）
2. 主な精神疾患・状態像の診断のための知識を習得する。
 - ・ 以下の疾患、愁訴、状態像について知識を習得
うつ、不眠、せん妄、不安（パニック障害含む）、適応障害、身体表現性障害、幻覚妄想（統合失調症含む）、自殺企図・希死念慮、痴呆、アルコール／物質依存、症候性精神障害、薬剤の副作用としての精神症状
3. 主な精神疾患・状態像の診断・治療のための技術を習得する。
 - ・ 以下の症例を経験する。
うつ、不眠、せん妄、不安（パニック障害含む）、適応障害、身体表現性障害、幻覚妄想（統合失調症含む）、自殺企図・希死念慮
 - ・ 診断・治療方針を決める。
 - ・ カルテの記載法（SOAP形式、適切な術語の使用）を学ぶ

- ・ 看護師に適切な指示を出す。
4. 精神症状への薬物療法を習得する。
 - ・ 向精神薬療法
 5. 精神症状への心理社会的介入方法を習得する。
 - ・ 患者、家族への指導の実際を学ぶ。
 6. コンサルテーション・リエゾン精神医学の実際を経験する。
 - ・ せん妄、抑うつ状態などの代表的なリエゾン症例を経験する。
 - ・ 主治医（身体科）に情報を提供する。
 - ・ 看護に対し適切なアドバイスや指導をする。
 7. 院内他職種との連携のための技術を身につける。
 - ・ 看護師との合同ミーティング
 - ・ 薬剤師、ケースワーカーなどを含む病棟カンファレンス
 8. 臨床検査（心理テスト、脳波など）を理解する。
 - ・ 心理テスト
 - ・ 脳波

【方法】

- ・ 精神科外来での陪席、予診
- ・ 精神科病棟で副主治医として患者を担当
- ・ 身体科リエゾンで症例を担当
- ・ 診断、治療のための知識、薬物療法、臨床検査については講義も行う。
- ・ 希望者には精神科専門病院の見学も検討する。
- ・ 看護師のスタッフミーティングに参加する。
- ・ 病棟カンファレンス、症例検討会などの機会に発表を行う。

【評価】

- ・ 評価はE P O Cを使用し、自己評価及び指導医の評価を行う。